



The R&A
St Andrews, Fife
Scotland KY16 9JD

Tel: +44 (0) 1334 460000
Fax: +44 (0) 1334 460152

www.randa.org
www.opengolf.com

2017年10月11日

クラブ製造業者宛

ゴルフ規則 **4-1b** はクラブの摩滅について扱っており、下記のように述べています。

新品の時に規則に適合していたクラブは、通常の使用によりすり減ったりしていても規則に適合しているものとみなされる。一方、クラブの故意に改造された部分は新品として扱われ、改造された状態で規則に適合してはいなければならない。

そのラウンドの前に生じたクラブの損傷についてはゴルフ規則 **4-3c** で扱われ、下記のように述べています。

ラウンド前に損傷していたクラブは、損傷したその状態で規則に適合していれば、プレーヤーはそのクラブを使うことができる。

規則 **4** のために、摩滅とは固体表面からの素材の目減りと定義されます。損傷とは1回の負荷、あるいは繰り返し与えられた負荷によって引き起こされた物質の構造的な弱体化と定義されます。

この製造業者宛の告知文書の目的は、競技現場で中古クラブについて行われることがあるペンデュラムテストに関連した規則 **4** の解釈の更新を通知することです。2018年1月1日から発効するこの更新された解釈では、中古クラブが競技現場でテストされ、**257 μ s**を超える結果となった場合、そのクラブは新品のとき、適合ドライバーヘッドリストに掲載されたときには適合していたという仮定に基づき、その特定のクラブは損傷して不適合の状態になったとみなされることとなります。そうしたことから、テストの結果 **257 μ s**を超えていた個々のクラブはゴルフ規則に適合していないので（付属規則 **II,4c** 参照）¹、次の正規のラウンドの間のプレーで使用することは認められないこととなります。その損傷はその前の正規のラウンド（つまり、競技現場でクラブをテストする前のラウンド）を始めた後に生じたものとみなされることになり、したがって、そのプレーヤーが競技現場でのテスト前にそのクラブが規則に適合していなかったことを知っていた場合を除き、過去に遡っての罰の適用はありません。

また、2016年3月11日付の告知文書にて、**257 μ s**という特性時間の制限（CTの制限+許容誤差）は、同日付以降に提出されたクラブについてインパクトエリア内のすべてのポイントに適用されるということをお伝えしたことについても思い出していただきたいと思います。

この告知文書についてのご質問やコメントは Steve Otto (equipmentstandards@randa.org) までメールでお寄せ下さい。

¹ 特性時間の制限値は 239 μ s です。その結果が間違いなく制限値を超えていることを確実にするために許容誤差 18 μ s が適用されます。この警告範囲内にあるクラブは制限値を超えているものとみなされます。